

OPINION 添乗員というスペシャリストの人材育成…雑感

縁あってこの添乗員派遣業界に身を置いて早6年が経ちました。当初に感じたこの業界の難しさは今もって変わりません。当社では事務派遣と添乗派遣と両方のビジネスを行なっていますが、事務派遣は「中途(キャリア)採用型」で、経験者をいかにマッチングできるか、これが重要なポイントとなります。一方、添乗派遣は「新卒採用型」でいかに募集・採用し、育成してスキルアップできるかが重要なポイントだと思っています。添乗は特殊なスキル、キャリア形成ははっきりしており、経験により成長して行く業務であることは間違いのないと思います。

募集・採用という課題

添乗員の育成を考える時に、まず「募集・採用」が大きな課題となります。少子高齢化が進む中、添乗員を目指す人は増えているでしょうか？ 特に男子若年層にとっての人気はどうでしょうか？

はっきり言って非常に厳しい状況と言わざるを得ません。そこには、派遣というあり方、待遇、勤務の不規則性等色々な問題を抱えていることもありますが、職業自身の魅力が以前と比較し、少なくなっていることも一因と考えられます。それだけに、男女を問わず、折角「添乗員になりたい」と応募してきた人は貴重な人材として大切に育成しなければなりません。

継続率という課題

次に「継続率」も大きな課題です。何の仕事でもそうですが、業務のおもしろ味を知り、解かるまでには時間がかかります。私は、以前新卒の研修等で、「まず仕事を好きになること」、そして「会社を好きになること」、好きになることによって「熱意・意欲」を持って取り組める、と伝えて来ました。この点は時代が変わろうが同じであると思っています。

特にこの添乗員という仕事は、まさに人が相手の業務であり、今の若い人には苦手と言われている「対人コミュニケーションスキル」が求められる業務です。一見、おもしろそうな仕事と軽い気持ちで応募する人も多く、やっ

てはみたものの、現実はなかなか厳しく、数ヶ月、数年で離職してしまう人も多いようです。お客様とのコミュニケーションにより、自分自身のコミュニケーションスキルを磨くことができるとプラス思考で考えられる人は成長できるのですが…。やはり計画的な育成計画、研修の充実が必要となります。育成過程の一環として、酸いも甘いも経験してきたベテラン添乗員によるコーチングも不可欠と考えています。クライアントの求める人材・スキルと添乗員個々人の求める働き方のマッチングも必要になって来ると思います。お客様のニーズが多様化し、又お客様の旅行経験によっても添乗員に求められる業務レベルは違いますし、インセンティブ、修学旅行、メディア等旅行形態によっても違います。又、添乗業務の範囲が広がっていること、業務時間とシーズンリティーの激しさは労働安全衛生上の問題にも繋がっています。大変な仕事であると再認識せざるを得ません。

添乗員さん曰く、「あなたが添乗してくれて本当に良かった」、「とても楽しい旅行でした。ありがとう」。このようなお客様からの一言がやりがいと誇りとなっているとのこと。まさにその通りだと思います。

いずれにしても、厳しい環境ではあるが、上記のようなやりがいと誇りを持ってくれる優秀な添乗員を育成することが、旅行会社から選ばれる派遣元の使命であり、ひいてはお客様から選ばれる旅行会社への支援となることを踏まえ、旅行業界、添乗員派遣業界が一体となって添乗員の地位の安定と向上を目指し、業界全体で添乗員というスペシャリスト人材育成の充実を図って行くことが命題であると考えています。



TCSA理事
(株)トップ・スタッフ
代表取締役

高柳 直行氏

CONTENTS

OPINION ————— 1

添乗員というスペシャリストの人材育成…雑感
(株)トップ・スタッフ 代表取締役 高柳 直行氏

特集 ————— 2

～添乗員のさらなる処遇改善に向けて～
「添乗サービス業 業務管理態勢強化ツール」の完成

TOP INTERVIEW ————— 4

ANAセールス株式会社 代表取締役社長
稲岡 研士氏をお訪ねして

TCSA REPORT ————— 6

TOUR CONDUCTOR of The YEAR 2013
“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2013”概要決定
関東運輸局長表彰 通訳案内士養成セミナー

TCSA REPORT ————— 7

添乗あれこれ～添乗の現場から～ 第3回
旅程管理研修 派遣元責任者講習会
2000日添乗員のコツコツ奮闘記 ④

TCSAだより ————— 8

「派遣添乗員の業務ガイドライン」発行&「添乗業務対応事例集」
「労働者派遣法改正の概要」 会員動向 編集後記

～添乗員のさらなる処遇改善に向けて～ 「添乗サービス業 業務管理態勢強化ツール」 の完成

TCSAでは平成24年度、厚生労働省労働基準局からの支援を受けて、「中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金事業」に取り組みました。この事業は、添乗員の処遇改善の実現に向けた基盤整備の推進を目的としております。

このたび、本事業の取り組みの成果として、派遣会社向けの『添乗サービス業 業務管理態勢強化ツール』を作成しました。今回のTCSAニュースでは、この事業の取り組みのポイントを中心にご紹介します。

1. 添乗サービス業が取り組んだ 本事業の枠組み

現状の添乗サービス業においては、添乗員の採用が思うように進まず、定着状況も改善されない状況が続いています。将来を担う若い人材を採用・確保し、定着に結びつけていくためには、添乗員の処遇改善を目

指した適正な派遣料金の実現に、まさに正面から取り組みなくてはならない時期にきています。

こうした添乗サービス業の課題を踏まえて、本事業は次のような枠組みで推進しました。

(1) 派遣元の自助努力による事業運営基盤、
事業運営態勢の強化

(2) 派遣料金の改善に向けた
派遣先への働きかけ

添乗員の処遇改善

(1) 派遣元の自助努力による事業運営基盤、事業運営態勢の強化

まずは、派遣元として取り組まなくてはならないことは、「自分たちの手による事業運営基盤、事業運営態勢の強化」です。真に派遣先から信頼されるパートナー企業になるべく、経営の質を高める努力が第一に求められます。まずは、派遣元としての経営努力を十分に行った上で、旅行業の一翼を担うパートナー企業としての立場から、派遣料金の見直しの必要性について、派遣先に理解を求めていくスタンスが重要です。こうした考えに基づいて、本事業では『業務管理態勢強化ツール』を作成しました。

(2) 派遣料金の改善に向けた派遣先への働きかけ

(1)の取り組みを大前提として、一方で、派遣料金自体が時代に応じた水準になっているのかを議論することも重要です。

本事業で実施したアンケート調査の結果を一部ご紹介します。

・一般管理費 17% ・営業利益 2%

「現状の派遣料金に対する派遣元の問題認識」

・利益が確保ができない 89% ・添乗員の賃金を上げられない 91%

・添乗員の教育費用が捻出できない 69%

＜シミュレーションガイド5ページ図表1、6ページ図表2＞に詳しく記載しました。

この調査では、現状の派遣料金をめぐって、派遣元はさまざまな問題を感じていることが分かりました。添乗員の処遇改善を目指したときに、現状の派遣料金にはどのような問題があるのかを、派遣元としてのしっかりとした

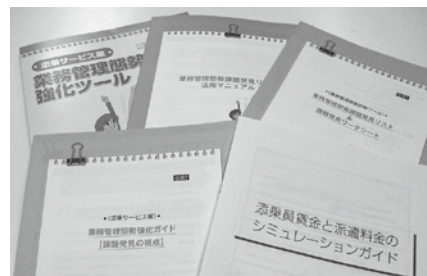
考えとデータを持って、派遣先と真剣に議論できるように努力していかなくてはなりません。そうした取り組みを推進する方策の一つとして、『添乗員賃金と派遣料金のシミュレーションガイド』を作成しました。

2.『業務管理態勢強化ツール』の紹介

(1)「業務管理態勢課題発見リスト」

「課題発見の視点」「活用マニュアル」を活用して、自社の業務運営上の課題発見、課題解決を図る

派遣元の重要業務を22項目に分け、自社の業務運営上の問題点や課題が発見できるようなツールを開発しました。



業務管理体制課題発見リスト

■領域Ⅰ 添乗員の管理

1. 添乗員の募集・採用・定着
2. 添乗員との契約・登録
3. 添乗員の賃金・手当・評価
4. 法定福利厚生、法定外福利厚生
5. 添乗員の労働時間、休日・休暇
6. 安全衛生、健康管理
7. 添乗員の育成(教育)
8. 添乗業務

■領域Ⅱ 派遣先(旅行会社)に関する業務の管理

1. 営業業務
2. 契約業務
3. 添乗員の派遣業務
4. 派遣先との連絡体制
5. 請求・回収

■領域Ⅲ 自社組織運営に関する管理

1. 企業理念、企業目標
2. 戦略・政策
3. 役割・責任
4. 情報・連絡系統
5. 職場環境整備
6. コスト削減、業務改革
7. 計数管理
8. 法令遵守(コンプライアンス)
9. 人材確保・育成(教育)

本ツールに収録されている「業務管理態勢課題発見リスト」「課題発見の視点」「活用マニュアル」は、自

社の業務運営上の課題発見から、課題解決のための実行計画の作成手順までをナビゲートしています。

(2)「添乗員賃金と派遣料金のシミュレーションガイド」は、派遣元に求められる派遣料金のシミュレーションの考え方、やり方等を紹介

このシミュレーションガイドでは、次のことを中心に紹介しています。

1) 添乗員の派遣料金に占める添乗員賃金や各管理費項目、営業利益率の現状と問題点

- ① 添乗員の派遣料金に占める添乗員賃金や各管理費項目、営業利益率の現状
- ② 現状の派遣料金に対する派遣元の問題認識
- ③ 添乗員の処遇改善に向けた派遣元として求められる取り組み

2) 添乗員賃金と派遣料金のシミュレーションの実践

- ① シミュレーションをする際の留意点
- ② 派遣料金のシミュレーションを実践したA社の事例
- ③ 派遣料金のシミュレーションを実践するにあたって

これらの取り組みについて、2月25日、26日の2日にわたって、東京と大阪で普及啓発セミナーを開催しました。



本事業に係わる成果物は、2月の末日に正会員及び各地区事業所へ3セットをお送りしておりますのでご一読ください。

ANAセールス株式会社

代表取締役社長 稲岡 研士 氏

汐留にそびえたつ「汐留シティセンター」の33F。眺望が素晴らしいANAセールス(株)社長室を2月8日にお訪ねし、稲岡社長のお話をうかがいました。



三橋専務理事(以下 三橋) まずは協会の賛助会員としてふたびご支援を頂けることになりまして誠にありがとうございました。長年航空会社に居られた稲岡社長は旅行業界の現状をどのようにごらんになっていらっしゃるのでしょうか。

稲岡社長(以下 稲岡) 旅行会社は航空会社のパートナーですからある程度は分かっていたのですが、経営面ではかなり違いますね。旅行会社のコストの大半は人件費で、これにシステム費・家賃を加えると9割方

なるのではないのでしょうか。営業利益率が非常に低いので、ややもすると忙しいばかりで、利益は残らなかったということになりかねません。今や旅行の情報は、何でもインターネットで入手できますから、賢い消費者はデジタル力を活用し種々な選択肢の中から最も自分のニーズに合った旅行に参加することができる時代です。

■ 新ブランド「ANAワンダーアース」の誕生

三橋 FIT化も進む中、昨年新しいブランド「ANAワンダーアース」をお創りになりましたが…。

稲岡 旅慣れたリピーター層のお客様の旅に対するニーズはより高度かつ多様化し、常に「新しい旅」を求めておられます。“行っていないところへ行ってみたい”というリピーターのお客様のご要望に叶った商品を充実させたいと思い、従来の「ANAハローツアール」に加え、海外旅行の経験が豊富なお客様にも、十分にご満足いただけるような高い付加価値のある旅行商品を、「ANAワンダーアース」でご提供していくことにしました。それぞれの目的地のベストシーズンに限定して旅程を組み、ホテルの部屋や、列車、船舶からの景色までもお楽しみいただけるように、細部までこだわりを持った内容になっています。また、「ANAハローツアール」では、ANA便を利用した旅行商品を中心に展開していましたが、「ANAワンダーアース」では、利用する航空会社を27社に拡大します。世界の1,356都市に就航しているスターアライアンスのネットワークを利用することで、地球上の全ての魅力あるスポットを対象とし、ユニークな



コースラインナップを取り揃えました。

三橋 新ブランドの予約状況はいかがでいらっしゃいますか。

稲岡 既に2コース申込まれるケースや年間計画を立てておられるお客様もいらっしゃり、こういったこだわりの旅を求めているお客様が確実におられることが実証され、手応えを感じています。

三橋 TCSAでは添乗を専門職とする人達の育成を主たる事業としておりますが、御社にも添乗を専門になさる社員の方がいらっしゃいますね。

添乗専門職の戦略的活用を

稲岡 現在14名います。が、現地を熟知し接遇のプロである人達にずっと添乗だけを専門にしてもらうのはもったいないと思っています。以前、添乗員を総合職に変えて転勤させたことがあります。現地に詳しく、お客様への気配りが出来る上、お客様と仲良くなってリピーターを増やせる。これが一番戦力になります。当社では、会社の戦力になって貢献したい人がいれば総合職に変えて仕事を任せています。その方達を戦略的に使おうと、営業や商品企画を任せたりしています。ワンダーアースの電話セールスも添乗員が行っています。その人達の経験やアイデアを商品企画に活かしていかなければ本当にもったいないと思います。社員だけでなく派遣会社所属の人達にもよく話を聞きますが、実に種々なことを知っていますし、とても良い話してくれます。

三橋 それは嬉しいお話をうかがいました。彼等のモチベーションを上げるためにも是非明記させていただきます。ところで社長ご自身、印象に残った旅についてお聞かせ頂けますか。

稲岡 昨年はロンドンオリンピックとケニアのサファリツアーに行きました。現地でシマウマ、キリン、カバ、サイな

どが現れると初めは感動していましたがそのうち刺激がなくなり、北海道で放牧されている牛を見ているのと同じ感覚になってきます。そしてもっと刺激が欲しくなる訳です。私自身はまだ行ってはいませんが、それが「ANAワンダーアース」で企画している、ルワンダの“ゴリラ・トレッキングツアー”につながります。

三橋 そうしたたゆまぬ探究心や好奇心が新しい商品企画に活かされる訳ですね。最後に協会の活動についてご要望なり何なりお話しいただけますか。

明るく元気な雰囲気期待

稲岡 社内外でよく添乗員さんを見かけますが、少し“疲れている”という印象を受けることがあります。笑顔を絶やさず元気な添乗員さんはパリっとした印象になりますし、その場の雰囲気が明るくなります。旅行業界全体にも言えることですが、胸を張ってプライドを持って尊敬されるような仕事をするために質を高める努力をして欲しいですね。

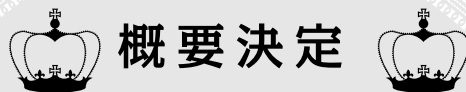
三橋 厳しいご指摘をいただき肝に銘じ、今後の人材育成に役立ててまいりたいと存じます。貴重なお話をまことにありがとうございました。

4月より催行される新ブランドに添乗される方々にも是非とも知って欲しいと痛感するインタビューでした。



※インタビューは稲岡様が在任中の2月8日に東京都内で行われたものを掲載しています。

Tour Conductor of The Year 2013 “ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2013”



昨年1年間の実績、功績において優秀なツアーコンダクターの榮譽を称える表彰制度が今年で8回目を迎えます。

詳しくは、既にTCSA会員会社、旅行会社に書類を発送しTCSAホームページにも掲載されています。5月24日(金)まで応募をお願いします。候補者は添乗を専業とする者として、旅行需要や添乗以外の事由を考慮して前年添乗日数100日以上を除外します。

推薦カテゴリー

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ① 添乗中の非常時対応 | ⑥ 傑出した高評価 |
| ② 社会的貢献 | ⑦ TCの鑑として普遍的功績 |
| ③ 旅行会社の営業促進及び組織貢献 | ⑧ 特筆すべき派遣先・旅行客の推薦 |
| ④ 特殊才能活用による添乗サービスの成果 | ⑨ 社会的話題性提供 |
| ⑤ 著書・マスコミ登場等による職業魅力づけ貢献 | ⑩ その他特筆すべき推薦理由 |

表彰内容

グランプリ(国土交通大臣賞1名)、準グランプリ(観光庁長官賞1名)とし、選考委員会委員長賞、日本添乗サービス協会会長賞、その他特別賞

表彰式

JATA「旅博2013」業界入場日
(平成25年9月13日(金) 予定)

平成24年度関東運輸局長表彰 (観光関係従事者功労)に 6名のツアーコンダクターが受賞されました

TCSA会長表彰(永年・功績など)の対象者のうち、TCSAから推進をしました結果、6名のツアーコンダクターの方が関東運輸局長表彰を受賞されました。表彰式は11月16日に横浜市開港記念会館で行われました。

平成24年度 関東運輸局長表彰を受賞された方々

- ・梶原 礼子さん((株)TEI所属)30年4,836日
- ・櫻井 昌一さん((株)TEI所属)30年5,772日
- ・佐山美智子さん((株)TEI所属)30年4,792日
- ・鶴崎由美子さん((株)TEI所属)30年4,968日
- ・成田 鏡子さん((株)TEI所属)30年4,820日
- ・樋口 一美さん((株)TEI所属)30年4,700日

観光庁主催の 「通訳案内士養成セミナー」 終了報告



セミナーの申込人員

通訳案内士制度の認知度向上を図るべく、制度や業務等についての理解を深めるためのセミナーを全国20箇所でTCSAが受託し実施しました。関係機関へのDMやHP等のリンクで募集し学生、ボランティア、添乗員、会社員、主婦等970名が受講しました。

地区	実施日	申込人数
沖縄	平成24年 11月 26日(月)	36
北海道	平成24年 12月 10日(月)	39
宮城	平成24年 12月 11日(火)	28
神奈川	平成24年 12月 14日(金)	46
千葉	平成24年 12月 20日(木)	70
東京	平成24年 12月 21日(金)	119
熊本	平成24年 12月 27日(木)	55
静岡	平成25年 1月 7日(月)	43
愛知	平成25年 1月 8日(火)	53
福岡	平成25年 1月 18日(金)	56
長崎	平成25年 1月 19日(土)	32
広島	平成25年 1月 22日(火)	37
大阪	平成25年 1月 28日(月)	85
奈良	平成25年 1月 29日(火)	34
兵庫	平成25年 2月 4日(月)	57
徳島	平成25年 2月 5日(火)	47
山梨	平成25年 2月 18日(月)	35
長野	平成25年 2月 19日(火)	32
石川	平成25年 2月 21日(木)	32
岐阜	平成25年 2月 22日(金)	34
合 計		970



現役の添乗員が、添乗現場で最近感じることやエピソードを自由に寄稿いただくコーナーです。

～添乗の現場から～ 第3回



添乗 あれこれ

一期一会を大切に

ダイヤモンドシステム(株)所属

添乗員: 三上 希さん (添乗歴5年 国内990日)

心に残るバスガイドさんがいました。ツアーで一緒した方ですが、声のトーンも抑え気心地よく、知識の豊富さとゆったりとしたご案内ですっかり私も聴き入ってしまいました。ところが、途切れることもなく話し続けるのでびっくりして、そのガイドさんに理由を訪ねました。

「バスの中で皆さん寝始めても、一人の年配の方が起きて聞いていらっしゃると、この方にとって今回が最後の旅行になったら…と思うとね、つつい話し続けちゃうんですよ」。

添乗員も共通することであって、私の心にズンッと響きました。

「孫が生まれた」、「家族の介護が始まった」、「病気を患った」…。さまざまな家庭事情が重なると、旅行へ出かける優先順位は下がって

しまいます。でもまた旅行に行けるような状況になり、行こうと思ったときに「前回のツアーの楽しかった思い出」が背中を押して、「あのときの添乗員さんによくしてもらったしね」と思われる存在になれたらと思っています。

私達添乗員は、バスガイドさんのような見せ場は多くありませんが、ホスピタリティや目配り、気配りなど地味ながらも誠意を持って、いいツアーにしようという思いが少しでも伝わり、幸福感に包まれて帰っていただけたなら、次のプラスになれるのではと、日々お客様と接しています。今後も添乗員として邁進して行きます。

「旅程管理研修」 5月～6月の 実施日程のお知らせ



※「国内・総合研修」コースで実施する場合、国内コースは1日目・2日目の受講となります。
受講前日までであれば受講料は無料、もしくは受講日程延期の対応をいたします。
研修催行確定(締め切り時点で国内・総合コース5名以上申込)の場合、
申込締切日以降であっても基礎教本相当研修修了者については、
受講前日まで受付いたします。

地区	実施コース	実施日程	申込締切日
札幌	国内研修	6月 18日(火)・19日(水)	6月 11日(火)
東京	国内・総合研修	5月 14日(火)～16日(木)	5月 7日(火)
	国内研修	5月 30日(木)・31日(金)	5月23日(木)
	国内・総合研修	6月 11日(火)～13日(木)	6月 4日(火)
名古屋	国内研修	5月 16日(木)・17日(金)	5月 9日(木)
大阪	国内研修	5月 14日(火)・15日(水)	5月 7日(火)
	国内研修	6月 11日(火)・12日(水)	6月 4日(火)
福岡	国内研修	5月 21日(火)・22日(水)	5月14日(火)

派遣元責任者 講習会スケジュール (6月～8月)



右記日程で、派遣元責任者講習会を行います。

講習時間:10:00～17:00

お申込:TCSAホームページより

開催地	開催日	受付状況	会場
北海道	5月16日(木)	受付中	北海道建設会館
愛知	5月30日(水)	受付中	ウインクあいち
大阪	6月 6日(木)	4/5から受付開始	エルおおさか
福岡	6月27日(木)	4/26から受付開始	天神ビル
東京	7月30日(火)	5/29から受付開始	大井町きゅりあん
東京	8月29日(木)	6/28から受付開始	大井町きゅりあん

2000日添乗員のコッソリ奮闘記

連載 ④7

体力勝負の国なら私にお任せ下さい!

ツーリストエキスパーツ

石渡 広美さん



子供の頃「兼高かおる世界の旅」という番組に憧れていたのが今の私の原点です。昭和63年から国内添乗を約10年。海外は2005年からまで50カ国以上周りました。得意と自負できるのは南米です。の中で最も思い出深いのは5年前ペルー標高3500mのクスコの観光中、参加者のOLの方が高山病で倒れてしまいました。この方はマチュピチュが長年の夢だったのにあわや行けないという事態に。しかし、現地の医師やスタッフの手厚い看護で翌朝回復し無事ツアーに合流、心配していたマチュピチュでは他のお客様皆様がこの方を順番にケアして、まさにツアーに携わる全ての人全員一致の協力体制で一人の女性の夢を支えたのでした。

帰国後この方からお手紙を頂きました。「添乗員さんあの時は本当にありがとうございました。こんなに楽しい旅行は生まれて初めてでした」と。貴重な人生のひと時を最高の思い出と感じて下さったのです。添乗員になってこんなに嬉しいことはありませんでした。しかしながら私も気がつけば50代半ば。自分の体力を過信出来ない年齢です。それでも添乗員を必要とされるお客様があり、派遣元、派遣先の方々が私のような者に仕事を下さる限り、子供の頃の夢が叶った大好きな添乗員だから、仕事ができることへの感謝の気持ちをいつも忘れずもうひと踏ん張りしていけたらと思っています。



TCSA だより

「派遣添乗員の業務ガイドライン」発行 & 「添乗業務対応事例集」 「労働者派遣法改正の概要」



協会の添乗業務改善委員会で検討してきました、上記内容の冊子を編集いたしました。この冊子は、グリーンブックの愛称で呼ばれ平成13年に国土交通省観光部長の私的懇談会「添乗員問題懇談会」の審議を受けて設置された「

添乗員派遣基本契約検討ワーキング」にて検討された内容をもとに協会が作成し10年ぶりに内容を一部修正と事例を加え、平成25年2月発行されたものです。既に、会員や賛助会員、旅行会社等に配布しましたのでご一読ください。

会員動向

正会員

●退会

株式会社HSサポート(会員番号111号)
代表者 大屋 政士
添乗派遣事業廃止のため

有限会社ライトアーム(会員番号105号)
代表者 住田 欽也

●住所変更

株式会社近畿日本ツーリスト沖縄
新住所:〒900-0033 那覇市久米2-4-16
三井生命那覇ビル6階
*電話番号は変更なし

株式会社エコールインターナショナル横浜支店
新住所:〒221-0056 横浜市神奈川区金港町6-14
ステートビル横浜4階
新電話番号:045-440-3077
新FAX番号:045-440-3088

賛助会員

●入会

ANAセールス株式会社
代表取締役社長 志岐 隆史
〒105-7134 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
電話番号:03-6735-3011
FAX番号:03-6251-8822

●会社組織変更

(株)ジェイティービー能力開発
→株式会社JTB総合研究所(合併)
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-2 上野ビルディング8階
電話番号:03-3525-4560
FAX番号:03-3525-4565

近畿日本ツーリスト株式会社
→KNT-CTホールディングス株式会社
〒101-8641 東京都千代田区東神田1-7-8 東神田フコク生命ビル
電話番号:03-6891-6898
FAX番号:03-6891-6879

委員委嘱変え (敬称略)

●運営幹事会

(株)アルファ 小見 光浩 (代表取締役社長)

●研修委員会

(株)TEI 榎 光義 (第一事業部長)
(株)ティーシーエイ 堤 隆 (部長)
(株)旅行綜研 田中 一成 (東京支店営業2課長)

●添乗員厚生委員会

(株)ジャッツ 石黒 祥隆 (代表取締役社長)
ダイヤモンドシステム(株) 田中 昭裕 (営業管理部長)
(株)トップ・スタッフ 辺見 佳代子 (主任)

●添乗業務改善委員会

(株)ティーシーエイ 柿内 裕一 (代表取締役社長)
(株)フォーラムジャパン 川崎 滋 (本社内支店参与)
(株)ヒト・コミュニケーションズ 堀口 謙二郎 (部長)

●添乗員能力資格認定委員会

(株)TEI 三橋 弘 (代表取締役社長)
(株)旅行綜研 森 康徳 (東京支店長)

(((編集後記)))

2期4年間事務局長を務め、3月末に退任しました。後任に中込元が事務局長に昇任し交代しました。前職は旅行会社の営業が中心で、書面作成より言葉や顔が先行する仕事でした。TCSAニュースの編集など、まったく未経験分野で、あらためて文章作成能力の無さを痛感しましたが、皆様のご協力により12回の発行ができたことに感謝いたします(M・B)

一般社団法人 日本添乗サービス協会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 朝井ビル4階
TEL(03)3432-6032・FAX(03)3431-8698
E-mail tcsa@tcsa.or.jp
URL <http://www.tcsa.or.jp/>